

# 第 129 回 地区内中小企業 景 気 動 向 調 査 結 果

(2021 年 1 月～ 3 月実績)

(2021 年 4 月～ 6 月予想)

\*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

地区内データベース	.....	1
全国 ・ 全道の概況	.....	4
調査の概要	.....	5
全業種総合	.....	6
製造業	.....	9
建設業	.....	11
卸売業	.....	13
小売業	.....	15
サービス業	.....	17
特別調査	.....	19

# 地区内データベース

## 1. 人口・世帯数動向（令和3年3月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,712	-264	-264	2,432	-91	-91
日 高 町	11,176	-507	-507	5,952	-168	-168
新 冠 町	5,325	-170	-170	2,755	12	12
新ひだか町	21,469	-854	-854	11,426	-187	-187
浦 河 町	11,880	-406	-406	6,618	-92	-92
様 似 町	4,106	-179	-179	2,142	-41	-41
え り も 町	4,457	-186	-186	2,095	-15	-15
広 尾 町	6,421	-284	-284	3,252	-51	-51
大 樹 町	5,398	-145	-145	2,718	10	10
日高・十勝地区合計	74,944	-2,995	-2,995	39,390	-623	-623
札 幌 市	1,960,829	6,946	6,946	1,082,277	20,918	20,918
江 別 市	119,502	688	688	58,598	1,377	1,377
石 狩 市	58,218	-42	-42	28,244	610	610
北 広 島 市	57,990	-472	-472	28,023	453	453
恵 庭 市	69,994	368	368	34,237	906	906
千 歳 市	97,103	538	538	50,450	1,248	1,248
石狩地区合計	2,363,636	8,026	8,026	1,281,829	25,512	25,512
苫 小 牧 市	169,808	-1,467	-1,467	90,198	1,465	1,465
厚 真 町	4,420	-139	-139	2,112	-30	-30
む か わ 町	7,664	-361	-361	4,057	-107	-107
胆振地区合計	181,892	-1,967	-1,967	96,367	1,328	1,328
営業区域合計	2,620,472	3,064	3,064	1,417,586	26,217	26,217

\* 日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

## 2. 企業倒産状況（令和3年1～令和3年3月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	0	0	-1	-32
(内・新冠町～えりも町)	0	0	-1	-32
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	44	4,900	-9	-4,613
全 国	1,554	290,331	-610	-11,635

### 3. 労働需給状況

令和3年1月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	818	76,156	-6.41	-7.36	-2.04	-2.07
月間有効求職者数	624	79,898	6.48	14.32	-1.42	1.30
月間有効求人倍率	1.31	0.95	-0.18	-0.23	-0.01	-0.04

令和3年2月

月間有効求人数	951	77,338	-1.65	-7.87	16.26	1.55
月間有効求職者数	618	82,408	-0.32	13.47	-35.02	3.14
月間有効求人倍率	1.54	0.94	-0.02	-0.22	0.23	-0.01

令和3年3月

月間有効求人数	1,003	83,701	-0.99	-1.35	5.47	8.23
月間有効求職者数	649	86,855	-2.26	11.82	5.02	5.40
月間有効求人倍率	1.55	0.96	0.02	-0.13	0.01	0.02

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

### 4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和3年3月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
163,386	1.11	1.02	60,975	1.05	1.03

(資料出所：浦河・静内金融協会)

### 5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和3年1月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	176	-33.33	23.94
交 換 金 額 (百万円)	240	-23.57	-61.29
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年2月

交 換 枚 数 (枚)	220	39.24	25.00
交 換 金 額 (百万円)	353	73.04	47.08
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年3月

交 換 枚 数 (枚)	249	-18.89	13.18
交 換 金 額 (百万円)	427	0.47	20.96
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

## 6. 建築確認申請

単位：件数

		件 数	前年同期比	前四半期比
当 金 庫 管 内 (新ひだか町～広尾町)	3/1～3/3月迄の累計	22	-2	1
	2/4～3/3月迄の累計	97	-6	

(資料出所：各町村)

## 7. 気象情報

令和3年1月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	-3.2	65.0	116.7	-0.7	176.2	83.7
広 尾	-5.4	112.0	135.7	-0.9	146.2	84.8

令和3年2月中

浦 河	-2.0	56.5	130.5	0.4	231.6	80.4
広 尾	-2.7	77.5	169.8	1.6	146.0	105.9

令和3年3月中

浦 河	3.2	101.5	194.3	2.7	206.7	100.1
広 尾	3.0	169.0	195.9	3.5	185.3	104.6

(資料出所：国土交通省 気象庁)

## 全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2021年1～3月期（今期）の業況判断D. I. は△37.1、前期比0.9ポイントの小幅悪化と、厳しい水準のなかでほぼ横ばいとなった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△41.7と前期比5.3ポイント改善、同収益判断D. I. は△40.1と同4.8ポイント改善した。販売価格判断D. I. は△5.2と前期比横ばいだった。人手過不足判断D. I. は△12.1と人手不足感が三四半期ぶりに緩和した。設備投資実施企業割合は0.4ポイント上昇して19.3%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、製造業と不動産業を除く4業種で、地域別では全11地域中7地域で、それぞれ悪化した。2021年4～6月期（来期）の予想業況判断D. I. は△35.3、今期実績比1.8ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、建設業と不動産業を除く4業種で、地域別には全11地域中8地域で、それぞれ改善見通しにある。

日本銀行札幌支店が4月1日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きが足踏みしている。すなわち、個人消費は、引き続き低い水準となっており、持ち直しの動きが足踏みしている。観光は、引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。輸出、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

### 需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準で推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- 輸出・・・横ばい圏内の動きとなっている。主要品目別にみると、食料品などで横ばい圏内の動きとなっている。この間、輸送用機器では、持ち直しのペースが鈍化している。
- 設備投資・・・減少している。3月短観（北海道地区）における2020年度、2021年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。
- 個人消費・・・引き続き低い水準となっており、持ち直しの動きが足踏みしている。スーパー、ドラッグストア、家電販売は、底堅い動きとなっている。乗用車販売は、持ち直しのペースが鈍化している。コンビニエンスストアは、やや低い水準で推移している。百貨店は、引き続き低い水準となっており、持ち直しの動きが足踏みしている。サービス消費は、引き続き低い水準にあり、弱い動きとなっている。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。
- 住宅投資・・・横ばい圏内の動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家は横ばい圏内の動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・持ち直している。主要業種別にみると、電気機械などでは持ち直している。輸送機械では持ち直しのペースが鈍化している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは低水準で推移している。
- 雇用・所得・・・雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。